

ー労働と教育の場「雑草」・クローバーハウス・生活支援センター・法人・後援会だよりー

# あらぐさニュース

2015 4

Vol.57

発行/社会福祉法人あらぐさ福祉会 〒362-0051 上尾市地頭方438-6 TEL048-726-5720 048-726-5862(支援センター直通)

## ブラスバンドに合わせて はりきって発表しました!



2015年3月8日(日)、上尾市文化センターを会場にして、「第20回あらぐさコンサート」が開催されました。20回という節目を迎えた今回の内容は、「上尾市民吹奏楽団」を招いたファミリーコンサートでした。

当日は、みんなの知っている曲目がたくさん演奏され、手拍子などで会場はとても盛り上がりました。もちろん、あらぐさの利用者もステージに上がり「花は咲く」の歌と「恋するフォーチュンクッキー」の踊りをブラスバンドに合わせて披露しました。「緊張する…」と言いながらも、本番に強いあらぐさの利用者は、リズムを外さない張り切ったステージ発表をして、練習の成果をしっかりと出していました。

(高橋好治)

# 新年度にあたり

理事長 太田 正一

社会福祉法人あらぐさ福祉会は、さる3月21日理事会において、2015年の事業計画、予算を議決するなど、新年度の準備を整え新年度のスタートを切ったところです。

新年度は、男性用グループホームが、老朽化とともに、旧建築基準法で建てられ、耐震強度が不足していること、また、スプリングクーラー等の安全対策に不備があること、及び、東京直下型の地震が今後30年間に70%の確立で発生すると予測されていることから、利用者の安全を確保するために建替えを決意しました。

また、土地の譲渡の打診があることから、土地の先行取得と次期事業の検討を開始することとしました。

引き続き、「あらぐさニュース」の読者の皆様には、ご支援とご指導を賜りたくお願いする次第です。

障がい福祉制度は、介護保険への統合を視野に、新たにサービスを利用するには各人のケアプランを作成し、それに基づきサービス事業者（あらぐさのような）と契約することによって受けられるように変化しています。

また、行政の責任による福祉、専門家による福祉から、地域実情に併せた福祉として、全国統一の福祉から地方自治体が主体となる福祉へ、民間参入や住民の支え合いの福祉へと変化してきております。

特に高齢化の進展に伴う要介護者の増加と、認知症患者さんの増加の将来予測の中で、施設型から地域で生活を営むことを中心とした福祉に変化しており、障がい者福祉にも押し寄せつつあります。この大きなうねりを誤りなく受け止め、「あらぐさ福祉会」の役割を一層明確にして事業の運営に努めたいと考えています。

具体的なお願いとなりますが、昨年4月消費税が引き上げられた際、あらぐさ商品の価格をどうするか内部で検討がされました。

商品の売り上げは、別に管理され経費を除いた収益は、全額仲間たちの工賃に充てられています。わずかな工賃にしかありませんが、障がいを持つ仲間たちにとっては、商品を作り、多くの市民に買っていただき、工賃を得ることは、社会の一員として社会につながりを持っているあかしであり励みですし、その体験を通して社会性を学び取る大切な活動になっています。このような中で、「安易にお客様に負担を転嫁するだけで良いのか」が議論となり、内部の工夫ができる間は、当面価格を凍結することとして1年間頑張ってきました。

しかし、主要原材料の小麦粉、砂糖、バターなどの値上がりと、ガソリン価格などの高止まりは、これ以上価格を凍結することは、仲間たちの工賃に多大な影響が出てしまいます。

不本意ではありますが、5月1日から商品価格を全面的に改定せざるを得なくなりました。

諸事象をご賢察の上、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

# 第20回あらかぐさコンサート♪



あらかぐさ自慢の手作りクッキー・ケーキはいかがですか??とってもおいしいですよ。



いらっしやいませ!!パンフレットどうぞ!!

お菓子が全部売れて良かった。  
(なかまS)

AKBの歌が楽しかった。  
バザーの品物が買えて良かったです。(なかまS)



バザー也大盛況でした!!



募金・署名ありがとうございました。

販売に参加してくださった

オーロラ

グリーンドア

かしの木園

グローブ

の皆様ありがとうございました。

とても活気あるロビーになりました。  
今後もよろしくお願ひします。





♪～花 花は 花は咲く いつか生まれる君に  
花 花は 花は咲く 私は何を残しただろう・・・  
(花は咲くより)

吹奏楽団との共演は、とてもよい機会でした。音と歌の一体感



たくさんの楽器が勢揃い!!みんな見とれていました。



# 新クローズアップ

## ♪市川 佐耶さんのこと♪



リサイクル班で仕事に取り組んでいる市川佐耶さん。キャップ取りを担当しています。

市川さんは、キャップ取りの名人です。作業に入ると、凄い集中力で午前中の1時間ぐらいでバケツが一杯になる程の量をこなしています。最近では、朝の朝礼が終わると自分の持ち場の準備をするようになりました。

仲間の調子が悪かったり困っていたりすると、すぐに気づいてお茶を持ってきたり、「だいじょうぶ？」と声をかけたりする優しい女性です。

いつも頑張り屋さんの市川さん。これから更に色々な作業が出来るよう頑張ってもらいたいです。

(安達)

あらぐさに通い始めて、今年の4月で3年目になります。

あつという間の2年間で、初めは「明日学校??」と毎日のように聞いてきたけれど、今では毎朝玄関前で、「あらぐさ出発!!」と一言言って元気に通っています。

家での仕事では、洗濯物を畳んだり、夕食の準備をしたり、毎日、自分からやってくれています。

あらぐさでの仕事では、夏は暑い中、冬は寒い外でのリサイクル作業ですが、これからも体に気をつけて頑張ってもらいたいです。

職員の皆さん、仲間の皆さん、これからもよろしくお願いします。

(市川佐耶の母より)

# 『第1クローバーハウス通信』

## 防災学習センターに見学に行きました!!



2月11日(水)の建国記念日に第一クローバーハウスの日中活動として鴻巣市にある埼玉県防災学習センターに仲間6名と職員2名の合計8名であらぐさの送迎バスを借りて行ってきました。

防災学習センターでは見学の他にもガイドさんについてもらい地震体験、煙体験、防風体験、水消火器を使った消火訓練などいろいろな体験学習をしたりミニシアターで防災についてのアニメを見たりしました。全ての体験を全員が経験できてよかったです。仲間の一番人気は、水消火器を使った「消火訓練」でした。スクリーンいっぱい炎が立ちのぼる様は迫力満点でした。この他にも119番通報の練習にチャレンジした仲間もいましたが、これについてはもう少し練習が必要なようでした。

防災学習センターの見学を終えた後は、アピタ吹上店のフードコートで各自好きなものを昼食として食べてからみんなでデザートにジェラートを食べ店内散策を楽しんで帰ってきました。





# 後援会のページ



## コンサート ありがとうございました

第20回あらぐさコンサートは、午前中からの曇天にも関わらず多くの皆様の参加を頂き誠にありがたく深く御礼申し上げます。

又、多くのご支援、協賛を頂き、改めて感謝致します。

今回のあらぐさコンサートの企画にあたっては、従来の著名なアーティストの出演から、もっと身近にコンサートを楽しむことが出来ないかと考え、上尾市民吹奏楽団のみなさんに出演を依頼し、みなさんの快諾の中、準備を進めて参りました。

20回目の節目を迎え、原点に戻ることが出来たのではないかと考える次第です。

日頃コンサートを楽しむ機会の少ない障害者の皆さんもたくさんのご来場を頂き、それも誰にはばかる事もなく、中央の席で健常者の皆さんと楽しんで頂けた事は、私を始めとするあらぐさ福祉会後援会の意とする事であります。

このコンサートに携わった全ての方に感謝しご挨拶とさせていただきます。

実行委員長 小谷 浩

---

## ★後援会入会のお願い★

日頃のご支援ご協力ありがとうございます。

会員の皆様には引き続きのご加入をよろしくお願い致します。

また新会員も募集しておりますので、一人でも多くの方がご加入して下さることを願っておりますのでよろしくお願い致します。

### お知らせ

6月6日(土) あらぐさ福祉会後援会第16回総会開催

### 春の模擬店

4月26日(日) わくわく公園まつり (場所：上尾水上公園)

5月16日(土) 大谷公民館まつり (場所：大谷公民館)



# 【お知らせコーナー】

## あらかさ祭り開催決定!!

### 7月4日（土）15時～19時

今年も沢山の模擬店やお菓子販売、仲間による出し物、イベントなどを検討中です。

キラキラ太陽がまぶしい暑い夏!! 皆様ぜひお越しください!!



## あらかさクッキーお中元



自然の恵みから作られた優しい味のクッキーはいかがですか?美味しく味わっていただくために、焼き上げてからできるだけ新鮮なうちにお届けしています。

6月より受付を始めます。お届け日は、ご希望に添います。

※ご希望で、のし紙もお付けします。ご注文の際に、お申し出ください。ご注文 お待ちしています。



①200円10個入り 2100円

③200円6個入り 1300円

②300円10個入り 3150円

\*この他ご予算に応じて注文を承ります。

～編集後記～ 昨年度、一般就労した新井健留さんのお母様は昨年度も編集委員。

時がたつのは早いもので、健留が就労してからもうすぐ1年になろうとしています。

とはいえ、あらかさで過ごした2年間は、つい昨日のこつのように健留の心の中に根付いているようです。いつも仲間と共に頑張っていました、今は毎日一人で配達などの仕事をこなしています。

親子共に、まだまだ不安な思いがつきませんが、外でも頑張っている仲間がいることを忘れないでいて

もらえれば心強いかぎりです。今まで本当にありがとうございました。

新井健留 母